



学校だより

上越市立下黒川小学校

第11号

平成29年12月22日発行

(回覧1月15日便)

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



……指揮杖、楽器、フラッグとともに引き継がれる伝統……

校長 岩下 伸子

全校児童83名が、互いに思いやり、それぞれの良さを認め合い、教え合い、協力し合う下黒川の子どもたち。12月8日に、「金管引継ぎ式」が行われ、14名の6年生から5・4・3年生へと金管バンドが引き継がれました。

6年生は、「下黒川小金管バンドの伝統」をしっかりと引き継いでもらおうと、休み時間には自分たちの演奏練習を行い、放課後課外活動では、3～5年生への指導をがんばってきました。

そんな6年生の真剣さが3～5年生に伝わり、「絶対、「金管引継ぎ式」を成功させるぞ！」と、3～6年生56名の心は一つになり、…当日を迎えました。

当日、体育館の端の方から憧れの眼差しで「金管引継ぎ式」を見ていた1・2年生。



ステージの上からは、たくさんの保護者の皆様や地域の皆様が、子どもたちの様子を温かく見守ってくださいました。そして、1つの演奏演技が終わるたびに温かい拍手をしてくださいました。皆様の温かい眼差し・温かい拍手は、子どもたちの励みになりました。

限られた時間の中での練習の成果を、十二分に披露した子どもたちは、式が終わると充実感・満足感・達成感に浸っていました。保護者の皆様、地域の皆様、温かい拍手を本当にありがとうございました。どうぞ、新メンバーの来年度の『運動会の演奏』もご期待ください。



各学年の活動(生活科・総合)の紹介

1年生「げんきとなかよし」

6月13日、かわいい白いヤギが入学してきました。小さいヤギは死んでしまうことがあると聞き、子どもたちは「元気で長生きできるように」という願いを込めて、「げんき」と名付けました。

子どもたちの願い通り、「げんき」は元気でした。柵を壊して脱走すること20回以上。地域の方から連絡を受けることもありました。でも、子どもたちが行くと近づいていきます。いたずら者ですが、人なつこく、甘え上手な「げんき」をみんな大好きになりました。

4月20日生まれのため、毎月20日を「げんきの誕生日」とし、みんなでお祝いしました。スギナが大好きなヤギだったので、それぞれ工夫を凝らして「げんき」が喜ぶ「スギナケーキ」を作りました。

雨の日も風の日も、毎日子どもたちはヤギ小屋に行きました。掃除や水替えなど、子どもたちだけでがんばりました。休みの日は、家族と一緒に「げんき」の世話をしました。でも、寒い冬が近づいてきました。たくさんあった草もなくなってきました。子どもたちは「げんき」と別れることを嫌がったのですが、「げんき」のためを思って卒業することを受け入れました。「自分のために」から「げんきのために」を考えることができるようになりました。まだ空のヤギ小屋を見ると、「げんき」を思い出して悲しくなる子もいます。しかし、「げんき」と関わった経験は、1年生を少し大人にしてくれました。

(担任 西山 寿子)



2年生「ひまわり学年のパワー・アップ畑」

「2年生になったら、野菜を育てて食べられる！」と思っていた子どもたち。「そのためには、まず土作りから…」と自分たちで耕してみました。やってみて、自力では上手くできないことが分かり、JAの方をお願いしてふかふかの土にさせていただきました。

5月の連休明けに、1年生でお世話をした「ペロちゃん」(ヤギ)からの贈り物(糞)も入れて自分の畝を作り、苗を植えました。

どんな野菜ができるかを楽しみにしながら、お世話を続けました。一人一人が自分の看板を作ったり、「学年の看板も！」という要望から『パワー・アップ畑』と名付けてみんなで看板を作ったりしました。

野菜は、6月下旬頃から収穫できはじめ、家に持ち帰っておうちの人と一緒に調理して食べました。

2学期になると、秋野菜(大根・人参)の準備をしたり、みんなで育てたポップコーンを収穫したりしました。

ポップコーンは、たくさんとれたので2年生で食べるだけでなく、文化祭でみなさんにおすそ分けをしました。12月には「ひまわりニコニコパーティー」を開き、親子でおでんを作ったり、ポップコーンを味わったりしました。

野菜の生長とともに、地域の方にもお世話になったことやおうちの方の知恵や力が頼りになったこと、自分の成長に気付くことができた2学期でした。

(担任 富永 舟子)



4年生「目指せ 最強柿崎川博士！」

総合のテーマ『目指せ 最強柿崎川博士！～見つけて・考えて・伝えて にじいろ調査隊～』をもとに、1学期は柿崎川の中流・上流・河口で調査活動を行ってきました。生き物調査や水質検査をする中で、子どもたちは柿崎川の水のきれいさや生き物の種類の多さ、自然の豊かさに気付いていきました。しかし柿崎川のよさだけでなく、柿崎川にはゴミが多いことにも目を向け始めました。「柿崎川のゴミ拾いをしたい！」という思いが生まれてきました。

文化祭の発表に向けて、地域の方に何を伝えたいかを考えた時のことです。「柿崎川のよさを伝えるとともにゴミ問題について伝えたい」という思いが多く出されました。「水のきれいさ」「環境」「自分たちにできること」「生き物」の各グループに分かれ、「柿崎川のきれいな環境を守っていきましょう」と発表を行いました。

発表はしたものの…でも、やっぱり自分たちの手で柿崎川をきれい にしたい！という思いが強くなり、11月27日に河口クリーン作戦を行いました。寒い時期でしたが、地域ボランティアの方が7名も参加して下さいました。3年生にも呼びかけ、総勢36名で河口のゴミ拾いを行ってきました。地域の方からは「こんなにゴミが多くあるなんて知らなかった」との声も。汗をかきながら、大量のゴミを拾い集めることができました。柿崎地域のため、柿崎川のため、柿崎川の生き物のために貢献できたと達成感を感じる活動となりました。

柿崎の地域のために、これからも活動していきます!!

(担任 横尾 希)



《上越教育事務所学校訪問・上越市教委授業改善支援訪問》

「学力向上」は新潟県の最重要課題です。そのため県では、各小・中学校が中学校区で協同して子どもたちの「学力向上」に取り組むよう指導し、各校を訪問します。11月29日の学校訪問では、上越教育事務所の野池指導主事と相澤指導主事、上越市教育委員会の渡辺指導主事が下黒川小学校を訪問しました。また、中学校区全体の先生方が当校に来校し、4・5年生の授業を参観しました。

上越教育事務所学校訪問は、中学校区単位で毎年行われます。昨年度は上下浜小学校と柿崎中学校に訪問し、今年度は下黒川小学校への訪問でした。上越市教育委員会授業改善支援訪問は毎年すべての小中学校で行われます。当日、午前中は4・5年生以外の授業を指導主事の校長先生、研究主任が参観しました。午後からは柿崎中学校区の全ての先生方が4年生と5年生の算数の授業を参観しました。授業後、授業の進め方はどうだったか、教師の発問や支援はどうだったか、子どもたちの学習の様子はどうだったかなどを、「よかったところ」「改善点」「今後Tryしていくところ」の3点から検討しました。

当日の子どもたちは、「私は〇〇だと思う。それは△△だから～」などと、堂々と自分の考えを発表していました。「下黒川小学校の子どもたちはすごいね」「先生方の教え方もすごい。しっかり教材研究をしていて、準備が素晴らしい。また、子どもたちの発言を丁寧に聞き、それらを取り上げ、学習が深まるように工夫してある。何よりも子どもたちが生き生きと楽しそうに学習していた」とたくさん褒めていただきました。今後も、全ての子どもたちが、「分かった!」「できた!」「伝えたい、教えたい、知らせたい、書きたい、表現できた!」と、満足できるような授業づくりを目指します。



6年生の最後の演奏は、自信に満ち溢れ、堂々とした立派な演奏でした。引き継いだ5年生4年生も立派でした。伝統を引き継いだ在校生は、6年生のような立派な金管バンドを目指し、がんばっていくことでしょう。



「6年生、最後の演奏を成功させるぞ！」と気合がこもった4年生フラッグ隊。キビキビとした一つ一つの動作がとても素敵な演技でした。⇒⇒



6年生主指揮から5年生主指揮へと、指揮杖が移杖されました。指揮杖とともに伝統を引き継ぎ、新しい金管バンドが誕生しました。↓↓↓↓



⇐⇐4年生から3年生へとフラッグとベレー帽が渡されました。

12人の4年生から15人の3年生へ！緊張しながらも大きな声で3年生は「がんばります！」とフラッグ隊を引き継ぎました。



12月8日(金)《人権を考える講話会》

金管引継ぎ式の後、ランチルームで市教育委員会社会教育指導員 笠原 正様から『自分も相手も大切に～差別やいじめのない社会を目指して～』という演題でお話をいただきました。

女性、子ども、高齢者、障害者、同和地区出身者や居住者、外国人、感染症患者、新潟水俣病被害者、北朝鮮による拉致被害者、犯罪被害者やその家族、刑を終えて出所した人等、インターネットによる人権侵害、ホームレスの人、性同一性障害の人、東日本大震災に関する風評被害、その他諸々の人権や差別の問題があります。笠原様は、実際に私たちの周りで起きている差別事象を取り上げ、自分自身の「差別する心」に向き合い、「相手の立場に立って考える想像力」「相手の心情に共感できる力」の必要性について、分かり易くお話をしてくださいました。

保護者の皆様・地域の皆様からもたくさんご参加いただきました。ありがとうございました。



冬休みの生活について《お願い》12月23日～1月8日

明日から冬休みです。年末年始を迎え、あわただしく、忙しい毎日かと思えます。しかし、祝日も含め17日間もあるお休みです。新年を迎えるにあたり、無事に一年が終了することに感謝したり、新年の抱負を語り合ったりする中で、《あなたがいてくれて幸せ、あなたが元気でいてくれることが親の幸せ》という話を、是非お子さんに伝えてあげてください。

世間では寂しい思いをしている子どもたちや、「死にたい」と思う子どもたちもいるようです。是非、子どもたちの思いに耳を傾け、子どもたちが希望をもって、明るく新年を迎えられるように、どうぞよろしく願いいたします。下黒川小学校の子どもたちが、家族に愛され、地域に愛され、自分を大切に、それと同じくらい家族や友達を大切にする子どもたちになるよう、大掃除をしながら、お節料理を作りながら、トランプやかるたをしながら、心温まる絵本を一緒に見ながら、紅白やお笑いのテレビを見ながら、いろいろな場面で、《外は寒くてもおうちの中はあったかい》そんな年末年始をお過ごしください。

どうぞ楽しい冬休みをお過ごしください。